

令和7年度第1回広島県FM連絡会議 開催報告

広島県FM連絡会議代表幹事：広島県

令和7年度第1回目の広島県FM連絡会議（自治体等FM連絡会議広島県地域会）を、令和7年7月25日（金）に広島県庁本館6階講堂において開催しました。当日は、広島県内の自治体から合計23名が参加しました。

県職員を対象とした「広島県ファシリティマネジメント研修会」も兼ねて開催した第1部は、千葉市都市局 都市部 都市安全課 主査 遠藤貢 様に講演を実施していただき、参加した職員等は会場でスクリーンに投影された資料を見ながら聴講しました。

遠藤様より、「千葉市のFM黎明期」と題して、千葉市における資産の総合評価と計画的保全の取り組み（予算の一元化等）や、施設の利活用や複合化、官民連携について、多数の事例を交えて御説明いただきました。

また、中国財務局 管財部 管財総括第二課 国有財産総括専門官 梶谷祐二 様には、「エリア価値向上に向けた国公有財産の戦略的マネジメントについて」御講演いただきました。地域における国公有財産のエリアマネジメントの推進について御説明いただき、山口市のシェアサイクルや広島市のアート壁画、岡山市の空きスペースを利用したキッチンカーの出店など、国公有施設の有効活用事例を御紹介いただきました。

第2部では、参加自治体を3グループに分け、「公共FM」または「包括施設管理業務」をテーマに、各市町の取組状況や課題について情報交換を行いました。アドバイザーの池澤龍三 様には、各グループ発表及び質疑応答を通して、公共施設にかかる安全確保の重要性や公共FMを推進する担当者の姿勢等についてアドバイスをいただき、大変有意義な時間となりました。

最後に、今年度第2回の広島県FM連絡会議については、尾道市において開催予定である旨を案内し、会議を閉会しました。

今回の連絡会議は、平成26年度に設置以来、20回目となりました。次回以降も、県内外を問わず、この会議での情報交換・意見交換を通して各自治体が結びつきを深め、これからの課題を克服し、広島県全体でのファシリティマネジメントの拡大及び向上を目指し、取り組んでいきたいと考えておりますので、今後とも皆様の御協力をお願いします。